

標 題 : Mediterranean diet and colorectal cancer risk: a pooled analysis of three Italian case-control studies
地中海食事と大腸がんリスク : イタリアの症例-対照研究3件の統合分析

著 者 : Valentina Rosato, et al. (イタリア ミラノ大学 臨床科学・地域保険学科)

掲 載 誌 : Br J Cancer. 2016 Sep 27; 115(7): 862-865.

要 旨 :

背 景 : 地中海食事(MD)の順守は数種類のがんのリスク低下と関連する。
しかし、地中海沿岸地域で実施された研究は不十分である。

方 法 : イタリアで地中海食事と大腸がんリスクとの間の関連を調べるために、合計
3745 件の大腸がん症例と 6804 件の院内対照からなる 3 件の症例-対照研究か
らのデータを、我々は統合した。
地中海食事の順守を、9 成分に基づく事前の地中海食事スコア(MDS)を使用
して評価した。

結 果 : 地中海食事の最も低い順守(0-2MDS)と比較して、最も高い順守(7-9MDS)の
オッズ比(OR)は 0.52(95%信頼区間(CI) 0.43-0.62)で、リスクには有意な逆の
動向があった($P < 0.0001$)。
MDS1 点上昇による OR は 0.89(95%CI 0.86-0.91)であった。
逆相関は、研究、がんの解剖学的サブサイトおよび選択した共変量の階層で
一貫した。

結 論 : このイタリアの研究は、大腸がんリスクに対する地中海食事の有益な役割を
確認する。
